

「ボッチャ」で交流

綾小と中丹支援学校の児童

綾部小学校(上野町、村上元良校長)で5日、(福知山市私市)の児童同校のたんぼほほ学級(特別支援学級)の児童の正式種目「ボッチャ」



「ボッチャ」を楽しむ児童たち(上野町で)

を通じて交流を深めた。

「ボッチャ」は、重度脳性麻痺などで運動能力に障害がある人のために考案されたヨーロッパ生まれのスポーツ。ルールは白いボール(目標球)を投げたあと、対戦チームが赤と青のボールを交互に投げ合い、目標球にどれだけ近づけられるかを競う。

この日、ボールの投げ方やルール説明を聞いた児童たちはコツをつかみながらボールを投げ、競技を楽しんだ。終了後、「みんなとボッチャができて楽しかった」「思い出に残った」などと感想を話していた。

中丹支援学校の児童たちは「ボッチャ」の前に、綾部小の4、6年生ともゲームなどをして楽しんだ。【森川孝則】